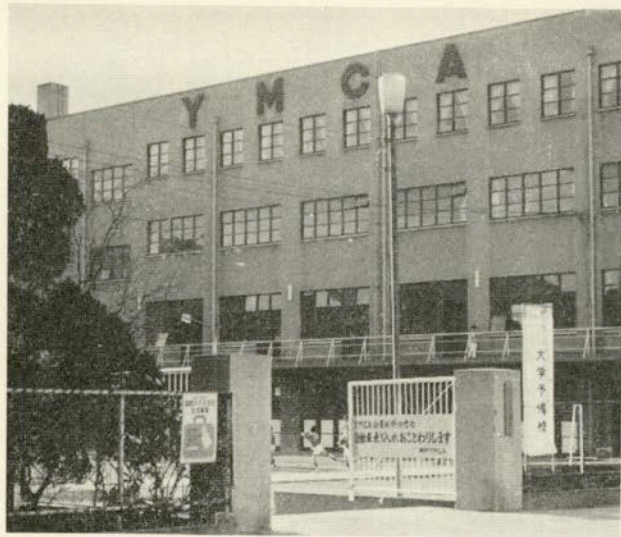


●神戸るぽ

神戸 Y M C A

また会う日まで また会う日まで かみのまもり 汝が身を離れざれ

讚美歌四〇五番は、中庭から程よく陽の流れる部屋から溢れ、四〇人の若い男女の胸を占めている。3月1日今日は、神戸YMCA国際ホテル学校の第5回卒業式だ「現在、社会に起こっている混乱は、諸君の住んでいる社会での人間性のひずみ、また体制内の、体制維持の不正義に対する大きな警鐘なのです。諸君は、この社会



中庭からみる神戸 YMCA 本館

に生きている以上、その不正義を許す重荷を担う必要があると共に、世の中の一善悪いところ、誰もが避けて通るところを、すすんで担っていくだけの覚悟と責任を持つてほしい。生きている社会に対して、社会的責任をとるということは、諸君の選んだ職業、日々の仕事を通してしかないのです」。

今井鎮雄校長は、聖書に片手をおいて力強く語った。

2月25日。ホテル学校主幹の香川弘光氏の案内で、教育部の2階に上る。最終講義で暗い廊下の一隅が賑わっている。眠っている生徒を除いて一斉に振り向いた。男生徒7名、女生徒20名。一様に若い。講義が終ると溜息と軽い歓声。「人間関係論」が終った。

5年前、同志社での先輩にあたる今井総主事にすすめられて、週2回の教壇に立つようになった、という佐名川実氏は、神戸新聞の整理部長である。

「開校時は、40才ぐらいの人もいて、ホテル側の再教育の効果もあり、生徒も非常に意欲的だったが、最近是一年令が18才から20才ぐらいに平均化されてきた。それだけに、ホテルマンになるための全人格教育が必要になってきましたね」

私達がいては、ホームルームができないというので、本館の地階の食堂に廻る。中庭に面している。

食堂の主人が、手をエプロンで拭きながら出てきた。屈託のない明るい青年だ。ホテル学校第1回卒業生の小南君である。就職したホテルがつぶれて、2年ほど前

にこの食堂をまかせられた。朝8時から夜の8時まで働く。忙しいですネ、と聞くと、すかさず、いや、Y M C Aの奉仕精神ですワ、と答える。開業する1週間前に結婚したという美しい奥さんがお茶を運んでくれた。

大学を出て民間会社の経理課に就職し、面白くない日々を過す青春に見切りをつけてこの学校に飛びこんだ、という山本君。24才の最年長者で温厚な青年。今はもうホテルマンをライフワークとする決意と覚悟ができています、と語った。

その彼が、工業高校を卒えてホテルに勤め、更に腕に磨きをかけようと再教育を志してきた若田君の、全人格的サービスに疑問を持った。本来、サービスはビジネスライクであるべきだ、と。そして誰にも気軽に利用していただけるビジネスホテルをつくるのが僕の夢です、と気恥しくボツンと語った。再就職であるだけに重責を負っている感じが痛いほどの。一体、ホテル業界はどう



国際ホテル学校第5回卒業式風景。証書を渡すのが今井総主事

うなりますかね？の質問が肌寒い校舎でなされるるとき、需要と供給のアンバランスから生まれる各種学校の便法さと、神戸Y M C Aを母胎とする精神主義の相克が渦を巻いている思いだ。

卒業生40名を代表して、最後は涙声でしか読めなかった答辞の緊張の残る笹倉英子さん。保母になりたかった高校時代を語るとき、彼女の眼鏡の奥に潜む柔和さが、既に選んだサービス業で大いに生かされるであろう。交通公社に就職の決まっている彼女は、誇らしげに卒業式で優等賞をうけた。

中山手通り2丁目。市電筋浜側の3階建の建物は、人の出入りが絶え間ない。中庭からは4階建の構造を持つ神戸Y M C Aである。小学生が揃いのユニフォームを着て、立木の陰の長い夕方、サッカーに興じる声は明るく空に吸いこまれる。大学生のお兄さん、お姉さんが、まわりつく子供をはらいのけるのに精いっぱい。雪が溶けかけている陽だまりだ。でもまだ寒い。

奥の体育館でも物音がする。南の別館の事務室の受付では、今春からの予備校の入学手続きが始まっている。黒い制服が二人、書類をうけとる。幼稚園児を連れた母親が、ショールをあげて小走りに中庭をすぎる。食堂から高校生の笑い声。嬌声。本館1階からのタイブの音。

体育館の物音はバドミントンの練習だ。羽の飛び交う中で、人が揺れ動く。汗をかいている。空手の掛け声がかかる。準備運動に時間がかかる。レスリングで押え込まれて唸っている青年。額の汗がマットを濡らす。隣りの小体育館からは音楽が流れる。一転してカラフルな装いをした女性が、緊張した面持ちの男性をリードしてダンスの稽古。ウォーク、はい、廻って、

横の黒板に、5月17・18日、神戸Y M C A 70周年記念全国Y M C Aスポーツ祭開催と書いてある。

これが私の描いていた神戸Y M C Aであった。

財団法人・神戸市基督教青年会の歴史は古い。Y M C Aの歴史は、更にさかのぼる。19世紀の都市ロンドンには青年労働者が自らの生活の保障も得られないほどに街に溢れ、産業革命が進行することにその悪弊が精神の退廃を招いていた。時に一八四四年、無名の一青年ジョージ



西神戸青少年センターのカギツ子教室

ウィリアムズとその同志11名の祈りと奉仕の熱意によって誕生したのがYMCAである。即ち基督教青年会であった。Young Men's Christian Associationの起源。

明治13年 東京基督教

青年会が創立、次いで大阪、横浜に創立されたが、神戸においてもこの運動は明治10年代の終り頃から起こっていた。即ち明治19年には、原田助、村上俊吉、水野功、吉川亀、その他の諸氏の発起で神戸基督教青年会が発足した。明治22年には、神戸市内の和友青年会、多聞青年会及び神戸青年会の三つの基督教青年会があり、その連合青年会を作る努力がなされていたことが明らかにされている。

明治32年、村松吉太郎（神戸教会）、西川玉之助（栄光教会）、中村平三郎（栄光教会）、森田金蔵（神戸教会）、伊藤俊介（神戸教会）等の諸氏が会し、神戸教会共励会所属の進修館を仮会館として、今日の神戸YMCAの基礎がはっきりと打ちたてられたのである。

これより数えて今年が70周年。以後いろいろと変遷があり、経営的危機、会館難の辛酸を経て、昭和24年に現在地に会館を建設、そして去る3月15日、県民会館で70周年記念式典を挙げるにいたった。この経緯は、長谷

川滋主事のもとで編纂された小冊子に詳しい。

「あつ、おっちゃん、どこのカメラマンや」

「ええカメラ持つとるな。はよ撮したりいな」

子供が椅子を越えて私を攻撃する。吐く息が白く、それだけが通る人の影をつくっている2月27日。神戸の街はまだ雪の下に眠っている。南向きの教室だけが暖かい。

山陽電鉄西代駅は、商店街とゴム工場に通じている。神戸YMCA・西神戸青少年センターは、スモッグで汚れた市街地を背景に、雪融け道を入口に迎えてくれた。

篠原慶弘主事が、早速2階に案内してくれる。

「やあ、おや（を）食べる前にお祈りですよ」

14人の学童が小さい手を合わせる。薄目を開けていた坊やが、おじちゃん、ここに座りなと隣りの椅子を指さす。これが学童保育、通称カギツ子教室だ。さながらカギツ子教室の感じがする。これでもいい方なんです、と柳谷先生は、女性とはいえかなり厳しい。南側のゴム工場団地、商店の小学校1年から3年生の子供たちが、月曜から金曜日まで、午後になると集まってくる。隣りの教室では3才から5才までの幼児保育の昼寝の時間。靴だけが、可愛く並べられてある。

カギを持ったカギツ子は、母親が家にいても仕事のためかまってもらえない子供だ。教室は実に騒がしく、それだけ暖かい。

静かな教室をふとのぞくと、習字教室の学童がいた。地域のために何ができるか、を問い続けることが、このセンターの課題なのです、と篠原主事が熱意をこめて語る。西神戸の工場街の中で、公害、共稼ぎの家庭における問題、中学生の非行防止、これらすべてにこちら側からまだまだ手を差し伸べる必要がある。

3・4・5階を某ゴム会社の中卒者の宿舍にあてている。70名が15室にわかれ、殆んどが定時制高校に通う。

西神戸青少年センターでは、主事が3名、職員6名、会員数六二〇名である。将来の方向性を聞くと、部落問

題と朝鮮人問題ですね、と答えが返ってきた。細い小径でも模索してつくることから福祉の方向づけをするのが我々の仕事だと思っています、と篠原主事は重症心身障害児の例をだす。このセンターが初めてボランティアのリーダーを障害児の在宅学習指導に廻したことが、神戸市に巡回教師を出させて、卒業証書を与えるまでに導いた実績を持っている。

1階ロビーでは中学生達の歌声が明るく響く。社会に出る前に楽しく働くことを学ぶ会、という研習会の開講式だ。大橋中学の若松二郎先生の話では、長田区六校の中学校と須磨の太田中学校に参加を呼びかけたが、実際は大橋中学と太田中学だけの参加となったとのこと。その大橋中学校でも70名の卒業者の中、14名の参加者があるだけで、若松先生の弁によれば、本当に来てほしい生徒が来たらん、ことになるそう。

センターを出る時、2階から讃美歌が聞こえてくる。月2回の礼拝の時間だ。柳谷先生の言葉をふと思い出した「カギツ子教室といっても、本当に必要な春休みや夏休みにはないのですから、おかしいですね」

70周年を迎えた神戸YMCAは、昨年末で、会員数が三、六四五名。主事が23名、職員27名の規模を誇り、全国でも有数である。また施設面でも、本館、体育館のほかに、西神戸青少年センター、須磨に千歳幼稚園、小豆島に、YMCA会員の象徴でもある余島、内海のキャンプ場。西宮のヨット艇庫。本館3階には32室のホステルが用意され、外人留学生を待っている。

少年事業、青年成人事業、そして体育事業における数々のクラブと教室と活動から、外国語学校、ホテル学校



神戸 YMCA 西神戸青少年センター

予備校、それに芸術園と日本語学校きわめて多岐にわたる活躍ぶりだ。神戸YMCAの予備校に入り、聖書クラス、料理、手芸教室を転々とし、最後に六カ月の英文タイプ科を卒業して、それを資格に就職。YMCAの気取った雰囲気は嫌ね。でも食堂のうどんがおいしかったワ、と感想を述べるYMCA卒業生と、日に献身に身を置いている主事との隔たりを痛感せざるを得なかった。

構成は、会員部、少年部、体育部、教育部、西神戸青少年センター、総務部に分かれ、それぞれに主事が3名以上担当する。主事の資格は、大卒で、3年間現場で仕事をし、そして1年間日本YMCA同盟の研究所で訓練を受け、主事論文の審査に合格することが条件で、全国でざっと二百名ぐらいいる。

この人的資源のもとで、神戸YMCAは、70周年記念事業として3本の柱を出している。一つは、現代社会の中における体育を考えて、それに見合うよう体育館を改築することだ。現在体育館で行なっている少年フィットネスを大人の世界にまで広げる意味を持っている。トラポリンで跳ねる子供から歓声がおこる。黒いユニフォームで必死にネットにしがみついている女の子。これを現代文明で精神的・肉体的疲労を感じている大人に強いること。これが本来の健康的社会の建設だ。

第二は、新たな野外活動センターを設けることである最後に注目されるのは、既成団地における核家族のあり方を追求して、ファミリーYMCAをつくる試みがある。これは、神戸YMCAが、地域社会における底辺への奉仕から、具体的に地域社会そのものの存在に挑戦しはじめたように見える。これが70周年を迎えての飛躍なのかも知れない。

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神 戸

西 店/三宮センター街・電話 33-8 8 3 6 (代)

東 店/三宮センター街・電話 33-0 6 2 9

三宮店/さんちカタウン・電話 39-4 3 0 3

東 京

銀座店/銀座並木通・電話573-5 2 9 8 (代)

渋谷店/東急本店・電話462-3 4 0 9 (直)

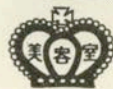
日本橋店/東急日本橋店・電話211-0 5 1 1 (代)

(5 階和装名家街)

(4 階和装名家街)

(内線294)

あなたの美しいヘヤースタイルと
花嫁をつくる 美容室 エリザベス



エリザベス

畑尾 美久子

本店美容室 生田神社前新河南ビル2階 <33>8894

婚衣装部 生田神社前(元本店美容室) <33>3258

三 宮 店 三宮神社山側三上ビル2階 <33>4917

芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅前 <2>4067

西 宮 店 西宮市阪急西宮マンション北館1階 <67>1294

美容担当(東京初代速藤波津子直流)専属結婚式場

生田神社・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・住吉

学園・蘇州園他

本格派の
人々に愛される
ヨシオカの靴

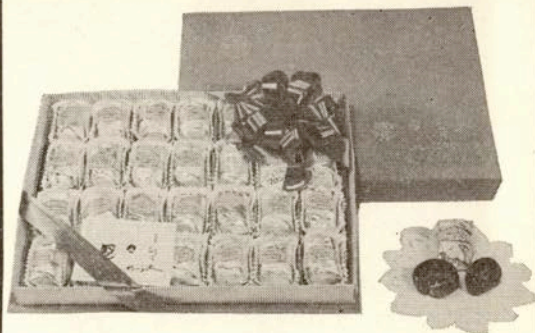


★靴のオーダーメイド

ヨシオカ

□神戸店 大丸前 33-5190・9763
 渋谷 462-3436(直)
 □東京店 東急百貨店 日本橋 211-0511(代)

パリの味!
**ヒロタの
マロングラッセ**



姿といい、味、色艶にフランス菓子の
優雅な華麗さをそのままお伝えます。

**洋菓子の
ヒロタ**

元町店 三宮店 さんちか店 秀品店 そごう店
 33-2340 32-1227 39-3474 23-2312 22-4181(代)

経済ポケット ジャーナル



★新生「川崎重工」誕生

最近の経済界の動きは、自由競争のもと隆々たる繁栄のなかにも、国際競争力強化のため、企業の合理化体質改善を迫っている。その方策のひとつとして、大企業どうしの提携、合併があいつぎ、話題をよんでいる。

神戸に本拠をおいている川崎グループ三社（重工、航空機、車輛）も、昨年十二月に合併に関する正式調印をすませ、四月一日からいよいよ新しい「川崎重工業株式会社」として発足、スタートした。



砂野 仁社長

新会社は事業本部五、事業部四からなる陸、海、空

にわたる総合重工業企業になったわけ。新資本金二百八十億円、年間売り上げ高

一千八百億円、従業員数三万名の巨大企業。売り上げでは三菱重工、石川島播磨重工について業界三位に躍進した。

合併比率一対一対一の対等合併だが、川重が二社を吸収するがたちで、社名は「川崎重工業株式会社」をそのまま存続させ、KAWASAKI DOCK YARD から KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES LTD. に英語名をかえた。発展する「川崎」のこれからの活躍をおおいに期待しよう。

★「考える小集団」大企業を動かす

「あらゆる職場において無数の考える小集団をつくり、それを軸として全社員が自発的に、かつ責任をもって実行する気風を確立すること」。藤本川鉄社長は「考える小集団」の創設を提唱した。

今日、巨大組織のなかにあっては個性が疎んじられ

埋没する傾向にある。一方経済界ではあらゆる面において弱肉強食、激烈な競争が展開されている。企業の存続発展には、常に新たなものを付け加えたり、不必要なものを取り除く努力が要求される。その原動力となるのが個々の構成員の創造的エネルギーといえる。小集団になれば、お互いの人格が尊重され、個性も活かされてくる。そうなればおのずと信頼感も生まれてくる。そのような小集団におけるチームワークの積み重ねによって組織を形成すれば、有機的つながりをもった組織の管理も可能になるというもの。

同社が今日の鉄鋼日本の地位を築く先鞭になったことはよく知られているが、藤本社長はこの提唱は、つねに新たな企業づくりに邁進する同社のバイタリティのあらわれといえる。

★川崎車輛（川崎重工）万博電車を大量受注

万博まであと一年たらず会場では工事が急ピッチですすめられているが、一方入場者の大半が電車を利用するため、北大阪急行から電車百両が各車輛会社に発注されている。

川崎車輛でも北大阪急行からアルミ車十六輛、ナニワ工機からステンレス車十六輛、計三十二輛の万博電車を受注している。車輛は両開き四枚扉で、車輛寸法は全長十八・七メートル、車幅二・八メートルからの高さ三・七四メートル。定員は約百四十名。重量がステンレス車の方が一輛につき四・五トン重いはかは、アルミ車、ステンレス車ともほぼ同型で大阪の地下鉄一号线にも同型車が走っている。

これらの車輛は、川崎車輛が川崎重工と合併するため、川崎重工からステンレス車が八月から九月、アルミ車が十一月から十二月にかけて納入される予定。

★KOBE オフィスレディ



毛利 啓子 さん (19)
川崎重工監理部管理技術課勤務

きれいのいい三日月まゆげと、うるおいのある目には、彷彿として、かの平安の姫姫美姫を思うに足るものがある。しかし、まだ幼なさのぬけないティーンエイジャー。おしやべり、ウィンドウショッピング、珍味甘味の探訪に忙しく、いつの日かの北海道旅行に夢を馳せる。時にはゴーゴーも踊ってみたくなるそう。43年度県立神戸商高卒。須磨区磯馴町在住。



★神戸の都市パターンは、中心部に臨海市街地一再開発、左右に西神・北神一内陸開発、といったかたちでのU字の振子型になります。道路と鉄道がその振子の役割をはたすわけで、六甲トンネルにつづく第2、第3の六甲トンネルや、山陽自動車道、西北神鉄道などの建設が、将来の重要な課題となります。

一方、既成市街地は、ポートアイランド、六甲埠頭、兵庫地区の3つの臨海センターを軸として、特徴をもった3本の都心軸から構成されます。中心に、外貿機能と三宮・神戸の管理中枢機能をタテにつなぐ都心軸、東に技術開発と生活物資加工機能、さらに、市街地住宅中心としての六甲副都心をつなぐ軸、西に内貿的物的流通機能・都市サービス工業機能と下町型の生活中心である西神戸副都心をつなぐ軸、といったかたちでの物の流れは、ポートアイランドから六甲埠頭を経て、北神の流通センター(インランドデポ)へ、また兵庫運河地区を経て西神へと動き、人の流れは北神地域生活中心(センター)から六甲副都心へ、そして三宮都心へ、また西神地域センターから新長田副都心を経て神戸都心へ、といった具合になります。

臨海部のポートアイランドにつながる waterfront の工業は、管理中枢機能に接近した条件を生かして、技術開発中枢として変質させたいものです。

神戸のアーバンデザイン (25) 情報社会時代の神戸の都市パターン (2)

水谷顯介＋チーム・UR



★白い潇洒なムードですみずみまで統一されたマンションの5階にこのすまいがあります。

子供が独立して、二人だけの生活に戻った夫婦が、一戸建の広いすまいから鍵一つの身軽な生活に移ってきたわけです。

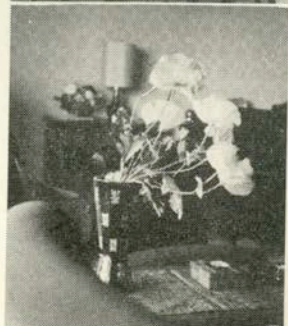
このマンションにも、きれいに造園された中庭や、ちょっと座りこんで話もできる快適なロビー等の共用部分が用意されていますが、自分の生活自体は、四角の箱にとじこまった形で運んでゆくので、生活の仕方の上でもある意味での単調さをカバーしてゆく必要があるのです。

セントラル方式での暖房が完備されているこのマンションでは、乾燥が激しく、木彫の家具が割れたり、折角の花がすぐ枯れてしまうなどのトラブルもあります。

固いインテリアを柔かくまとめる目的を持った、木肌を生かした家具にも細かい取扱の注意が必要です。室内には造花を巧みに配置して、生の花木の植木鉢は外のバルコニーに並べられています。

すばらしい窓の眺望と、対比したかたちで、インテリアの壁にはそれぞれに想い出のあるすぐれた小物類に囲まれて、まだまだ試行錯誤の段階にあるマンションの中で、長い外国生活の体験を生かして快適に暮している知恵が、頼もしく感じられました。

(高月昭子)



★技術ジャーナル

EADI

Electronic Attitude
Director Indicator

諸岡博熊

△神戸市企画局調査部副主幹▽

空の交通が混雑し始めているときに、飛行中の航空機がその位置を正確に決定するデータがあれば航空業界の発展に役立つであろうということは何しも望むことであつた。

× × × × × ×

このたびEADIという略語で呼ばれる航空機の電子姿勢装置がこのほどアメリカで開発され、実用化テストを行なった。これは機首に装着されたTVカメラで着陸時前方を監視し、カメラからの情報で着陸の際の操縦をよりの確なものにしようとする装置である。そして、これは、進入および着陸の際に絶対必要な各種の情報を、ひとつの計器で表示できる仕組みとなっている。

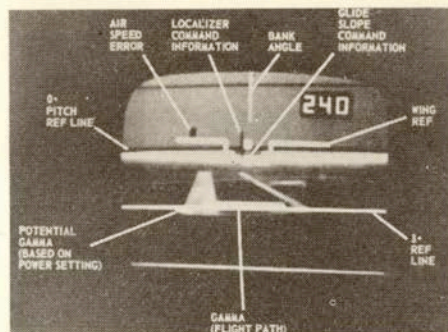
実用化テストは、昨年末、ボーイング社のウィチタ工場でボーイング707型機の原型であるところのダッシュ200型機に装置されて行なわれた。そして、12の航空会社、FAA（米連邦航空局）、米空軍などから選ばれた25名のパイロット

トによってテストされた。このテストは約一週間にわたって一二回の進入、着陸を繰り返して実施された。

本装置はコンピュータ化された飛行機の位置指示装置が航空機に設置されていて、パイロットの操縦結果を飛行機の航跡ならびに地上との関連などはすべて、日本製のソニービデオコーダーに記録された。その結果は、進入、着陸に際しての必要データの要約を指示装置が表示したため、パイロットにとっては好評であつた。またメーカーのノーダン社も極めて満足すべきデータを集め得たといわれる。

× × × × × ×

EADIは主として、テレビカメラ、アナログコンピュータ、テレビスクリーン、信号発生器な



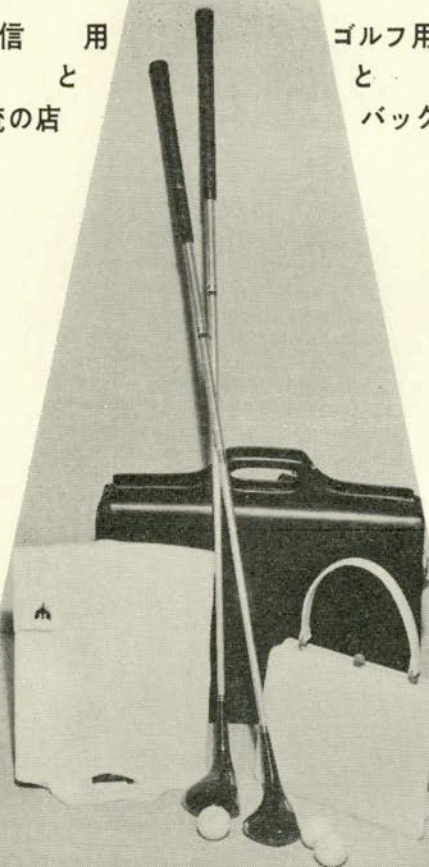
どから構成され、操縦席のスクリーンと機首のテレビカメラが結ばれている。通常の進入、着陸の際にはパイロットは忙がしく計器盤を眺め廻して、運航の状態が計器の指示どおり所定の位置で安全であるかどうかを確認しながら行なわれるのであるが、EADIのおかげで、パイロットは必要最小限度のデータが地上と関連をもって表示されるため、的確な運航が確実に行なえるものである。この装置から得られる副次的なメリットの一つに騒音の軽減がある。すなわち、飛行機の進入、着陸のため降下中、その降下スピードを的確に制御できるため、低空飛行時間が減少し、その結果として騒音の減少に役立つものと期待される。

具体的にこの器械のもつ効果についてノーダン社がつぎのように述べていることが注目される。

それは赤外線テレビ装置によって目視をより確実にすること、過失操作をチェックする自動装置と警報システムを内包していることである。これをテストしたPAM社のパイロットの言によると、霧のなか、夜間照明のとどきにくい消火路などEADIから得られる情報は実に正確で、シュミレーダーの記録機どおり操縦でき、なんら不安感がなかったと伝えている。

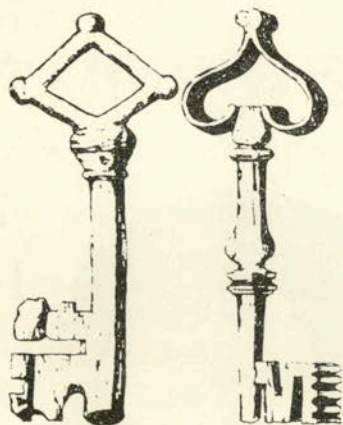
信用
と
伝統の店

ゴルフ用品
と
バッグの店



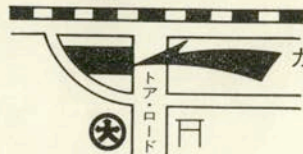
田 田カハシ

神戸・元町 3 丁目 TEL 33-1172・7782



どんな鍵でもすぐ複製します
カットは遺跡で発見されたポンペイの鍵

インテリアデコレーション
合鍵と錠前



カギヤ
金物店

KOBE 三宮・トア・ロード ③ 0193・6507

カギ屋金物店

OSAKA 心齋橋そごう地下一階

服飾デザイナーへの夢を育てる 戸塚敏衣服研究所

公認・伊東連盟校

★入学期

4 月
10 月



洋裁本科
高等科

研究科
男子科
手芸科




写真は戸塚敏
デザインの作品です

神戸新聞会館東隣り

三栄ビル 4 階
TEL 22-6268

シックな
めがね……



 **神戸眼鏡院**

元町店・元町 3 丁目 ☎321212 代表

三宮店・さんちかタウン ☎391874 ~ 5

●Try your chance

オートバイ

旅行記 (1)

大迫嘉昭

昭和三十九年七月、オリンピックの年、私は、百ドル持ってアメリカへ渡った。大学を出て、大阪の観光業社に入社したが、お客に対し、外国旅行の説明をしても所詮、本や、人の話の、聞き売りにならず、自信もなかった。英語を憶えること、外国を実際に見て知ること、これが、この仕事の資本である。運よく、私は、私費留学試験という、聞きのよい国家試験には合格したが、貯金も十万円前後しかなく、両親も、五人の子供を育てねばならず、渡米の旅費も出せなかったので、田舎



(鹿兒島)の一つしかない宅地を十方で売り、やっと旅費をつくったその他、友人達からいただいた銭別をあわせやっと百ドルの小遣いが出来た。最初、一年九カ月の予定で出発、ハワイに途中一泊してサンフランシスコ一泊後、ロスへ飛び、英語学校の入学手続を終え夏休みであったので、伯父の紹介状を持って、シスコとロスの中間の街、デラノのブドウ畑にアルバイトに行った。九月に入り学校に入学、その学校は、外人のために英語を教えるためのもので生徒は世界各国から、来ていた。授業は二部制で、午前八時から午後二時までと午後二時半から午後九時までに分れていた。私は午後からの部へ廻された。生活費を稼ぐため、午前七時半から午後二時まで墓の芝生刈のアルバイトをやった。その間、スチュワード、コントロールタワー員、パーサー観光業、ホテル業等の専門学校を見つけ入学したかった。一年は直ぐに過ぎてしまった。私は、この専門学校に後の一年半で卒業できることを知ったが、英語の上達が遅いのお金がないことで、後一年この英語学校に席を置かねばならない。この学校は、ロス市立で学費も年一ドルと只みたいなのであった。しかし、渡航の自由化に伴い二年目には、日本留学生が激増し、英語を勉強する雰囲気には程

遠いものになって来たことと米政府の米国礼賛的、洗脳教育的な面が気に食わず、面白くない一年であった。三年目にやっと一カ月百ドルの学費をなんとか払うことが出来るようになり、観光専門学校に入学した。ここは日本人学生は私一人で、周りは皆アメリカ人で、英語の勉強にはもってこいである。私は、コントロールタワー要員を希望したが、眼鏡を掛けているため断念せざるを得なかった。留学生は、昼の部に出席せねばならなかったが、アルバイトをせねばならないため、教師に頼み夜間通えるようにしてもらった(アメリカでは、昼と夜間の差別は同じことを勉強しているのだから就職に関係ない。この点日本の差別に納得できない)私は観光コースを学んだが、一応、観光業についているものには、最底知っていなければならない基礎を教えられたが、毎日、世界の地名を教師がいい、時間内に、安く、多く見てまわるための、スケジュールを作られたり、適当な金額をいわれ、それで、何日間以内のコースをスケジュールに組み立てたりで、一年半に二冊もタイムテーブルをバラバラにした。毎日、世界地図とのにらめっこ。何時しか、世界を廻ってみたいと思いがしたら、いても立っていないらなくなった。(つづく)